



松坂屋名古屋店 松坂屋美術館

## 心豊かな空間を創出

### 美術館・ミュージアム

J.フロント リテイリングは、国内外の素晴らしい人気作家の作品などをより気軽に身近にお楽しみいただけるよう、主要百貨店店舗内に美術館、ミュージアムや多目的ホールを設置し、話題性に富んだ展覧会や各種イベントを随時開催しています。絵画を中心に、写真、デザイン、絵本絵画など幅広い分野の魅力あふれる作品の数々を通じて、ご来店のお客様に心豊かな生活を提案し、地域への文化貢献を図っています。



ニューオーリンズ ギッター・コレクション展  
酒井抱一「朝陽に四季草花図」江戸時代

### ■ 2009年度の主な開催実績

追悼 片岡珠子展 (松坂屋美術館)  
PARADE of OBSESSIONS ミロ展 (大丸東京店、神戸店)  
ムーミン展 (大丸心斎橋店、東京店、札幌店)  
迷宮への招待 エッシャー展 (松坂屋美術館)  
レオナルド・フジタ展 (松坂屋美術館、大丸神戸店)  
中原淳一展 (大丸神戸店)  
東本願寺の至宝展 (松坂屋美術館)  
のだめカンタービレワールド (大丸神戸店) など

### ■ 2010年度の主な開催予定

スタジオジブリ・レイアウト展 (松坂屋美術館)  
ミッフィー誕生55周年記念 ゴーゴーミッフィー展 (大丸札幌店、神戸店、松坂屋美術館)  
追悼 赤塚不二夫展 (松坂屋名古屋店 マツザカヤホール)  
没後10年記念 三岸節子展 (松坂屋美術館)  
岩合光昭写真展「ねこ」(松坂屋名古屋店)  
大昆虫展 (松坂屋名古屋店 マツザカヤホール)  
画集出版記念 ジミー大西 夢のかけら展 (大丸心斎橋店)  
帰ってきた江戸絵画  
ニューオーリンズ ギッター・コレクション展 (松坂屋美術館)  
棟方志功展 (大丸京都店)  
アール・ヌーヴォーのポスター芸術展 (松坂屋美術館)  
生誕120年記念 堂本印象展 (松坂屋美術館) など

### 染織参考品コレクション

松坂屋では、オリジナル呉服の創作に役立てる目的で1931年京都に染織参考室を設置して以来80年にわたり、日本や世界各地の染織参考品の収集を行ってきました。これまでに収集した参考品は、豊臣秀吉の側室である淀殿が着用したと伝えられ、重要文化財に匹敵するともいわれる慶長小袖をはじめとする江戸時代の小袖を中心に、約1万点を数えます。

2010年8月には、これら所蔵のコレクションを名古屋店に移設し、松坂屋史料室にて管理・保管を行うとともに、随時、衣装の一部を南館7階の松坂屋美術館常設展示場において一般公開し、多くの方々に日本染織美術の粋に触れていただく機会を創出していきます。



淀殿が着用したと伝えられる慶長小袖

## W.M.ヴォーリズの建築美

1717年(享保2年)に創業した大丸呉服店が、現在の心齋橋店の地にショーウインドウのある洋風の店舗を構えたのは1914年(大正3年)。それから数年経った1918年(大正7年)10月、当時大阪でも珍しく個性的なゴシック様式の木骨4階建レンガ造りの百貨店が誕生しました。それが、W.M.ヴォーリズ(1880-1964年)が大丸の建築を手掛けた最初でしたが、わずか1年4か月後には惜しくも焼失。現在の心齋橋店の建物は、4期に分けて計画的に建築が進められました。第1期工事は1922年(大正11年)に心齋橋筋側の南半分、第2期工事で同じく北半分を1925年(大正14年)、そして1932年(昭和7年)の第3期、翌1933年(昭和8年)の第4期増築工事で御堂筋側を完成し、地上7階のネオ・ゴシック様式の百貨店が出現することになりました。

建物の中間層は重厚感のあるスクラッチタイル張り、これを挟むように1階は花崗岩張り、最上階の外壁はテラコッタで緻密にデザインされています。大丸のシンボルとなっている孔雀のレリーフが施された玄関をくぐり抜けて店内に入ると、天井のフレスコ画、中央エレベータホール上部のステンドグラス時計など華やかなディテールが次々と現れてきます。それらはすべて、幾何学模様や抽象化された花や樹木、雪や鉱物の結晶など、ひとつのトーンで統一された、アール・デコの世界です。

地域の店舗ごとに特色があるのが本来の百貨店。モノやサービスとともに、特別な時間・空間をお客様に提供する、心齋橋店としてのひとつのアプローチがここにあります。



孔雀のレリーフ



本館中2階(メザニン)



本館1階エレベータホール



レリーフ天井



フレスコ画の天井



光と色彩の天井



イソップ寓話のステンドグラス



大丸心齋橋店



ステンドグラス時計